

第75期報告書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
第75期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）のご報告を申し上げます。

■営業の概況

当連結会計年度の世界経済は、一昨年来の金融危機による景気後退局面が続きましたが、景気刺激策の効果もあり緩やかに持ち直しています。

国内経済においては、企業収益の本格的な回復には至らず、厳しい雇用情勢など、依然として不透明な状況が続きましたが、アジア向けを中心に輸出が増加するなど持ち直しの動きが見られました。

風水力機械業界においては、厳しい経済環境や円高の影響などから需要が減少している状況が継続しました。

このような厳しい受注環境の中で、当社グループは営業活動を積極的に展開しましたが、当連結会計年度における受注総額は159億63百万円（前連結会計年度比27.1%減）となりました。

■業績の概要

◇売上高／損益

売上高については、前連結会計年度に比べ20.9%増加の242億13百万円を計上しました。

利益面については、競争激化による受注価格の低下が続く中で、新工場建設による生産性向上の効果などが製品コスト削減に寄与したことに加え、営業・管理費用の効率向上もあり、営業利益は17億14百万円（同28.9%増）となりました。また、経常利益は前連結会計年度に比べ営業外費用が減少したことにより17億56百万円（同73.6%増）となり、当期純利益は10億38百万円（同65.0%増）と大きく改善しました。

なお、期末受注残高は153億円（同35.0%減）となっています。

◇配当

当期の配当金につきましては、1株当たり期末配当30円（中間配当とあわせて通期では50円）とさせていただきます。

また、次期の配当金予想額につきましては、1株当たり年間配当50円に加え創業100周年記念配当10円を予定しています。

■次期の見通し

世界経済の回復により受注環境が改善されることが想定される平成22年度は、当社の第3次中期経営計画の最終年度となります。これまで進めてきた海外戦略ならびに成長戦略については、今年度は更に、受注総額拡大に重点をおいて237億円を目指します。

また、今年度、創業100周年の節目となる当社にとっては、過去に納めた多くの機器があり、最新の高効率製品への取り替えや部品交換を提案するなど、組織的なストックビジネスの深耕も継続して取り組んでいきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

代表取締役社長 柳瀬宜浩

インドの石油精製会社向け製油所用高圧多段ポンプの受注



●製油所用バレル型高圧多段ポンプ工場試運転状況

当社は近年、海外のガス&オイル向けポンプ市場に積極的に参入し、中でも付加価値の高い多段ポンプの受注に向けて取り組んできました。写真は、インドの石油精製会社から受注したモータ定格出力3,550kWのバレル型構造（2重ケーシング構造）の高圧多段ポンプです。当該ポンプは製油所の蒸留装置に原油を圧入するために使用されます。また、原油中継基地から1,014km離れた当該製油所まで、原油をパイプラインで送るための原油圧送用高圧多段ポンプ6台も、この度受注のポンプに先立って既に出荷され、現地で据付工事中です。

国内プラントメーカー向け海外肥料プラント用ファン・ブロウの試運転完了

国内プラントメーカーより受注した海外肥料プラント用各種ファン及びブロウ（*）の工場試運転を完了しました。同プラントは、天然ガスを原材料として、日産3,500トンの肥料用尿素を造る設備で、一建設工期内に建設される肥料プラントとしては世界最大です。当社は、ここに合計21台のファン及びブロウを納入しますが、特にポリユート（渦巻き形状）ケーシングタイプの2段ブロウはモータ定格出力2,620kW及び圧力58kPaのそれぞれが当社実績において最大であり、工場試運転結果も仕様を充分満足することができました。

*ファン及びブロウ…圧力上昇が10kPa以上のものをブロウ、未満のものをファンという。



●海外肥料プラント用
2段ブロウ工場試運転状況

● ポンプ

前連結会計年度に比べ国内民需向けが増加しましたが、海外向け及び官需向けが減少しましたので、受注高は115億64百万円（同18.9%減）となりました。



●肥料プラント向け（冷却水循環用）両吸込渦巻ポンプ

● 送風機

前連結会計年度に比べ国内民需向けが増加しましたが、海外向け及び官需向けが減少しましたので、受注高は29億66百万円（同38.8%減）となりました。



●肥料プラント向け（尿素製造設備用）両吸込ターボ送風機

● バルブ

受注高は前連結会計年度並みの3億91百万円（同5.7%増）となりました。

●上水道取水ポンプ吐出圧制御用ACサーボモータ駆動ロータバルブ



● その他

前連結会計年度に比べ国内民需向けが増加しましたが、海外向け及び官需向けが減少しましたので、受注高は10億40百万円（同57.2%減）となりました。

●排水機場向け放水路管理システム



連結財務諸表

●連結貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	17,102	流動負債	8,857
現金及び預金	1,396	支払手形及び買掛金	5,068
受取手形及び売掛金	11,777	未払法人税等	763
仕掛品	3,177	前受金	1,088
原材料及び貯蔵品	136	受注損失引当金	115
その他	614	製品保証引当金	171
貸倒引当金	△0	役員賞与引当金	58
固定資産	7,255	その他	1,591
有形固定資産	3,403	固定負債	1,310
建物及び構築物	2,069	退職給付引当金	1,073
その他	1,333	役員退職慰労引当金	13
無形固定資産	189	その他	223
投資その他の資産	3,661	負債合計	10,168
投資有価証券	2,160	(純資産の部)	
その他	1,553	株主資本	13,949
貸倒引当金	△51	資本金	810
資産合計	24,358	資本剰余金	111
		利益剰余金	13,406
		自己株式	△378
		評価・換算差額等	240
		その他有価証券評価差額金	264
		繰延ヘッジ損益	△23
		少数株主持分	0
		純資産合計	14,189
		負債及び純資産合計	24,358

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
売上高	24,213
売上原価	18,927
売上総利益	5,286
販売費及び一般管理費	3,571
営業利益	1,714
営業外収益	162
受取利息	26
受取配当金	36
雑収入	100
営業外費用	120
支払利息	0
雑損失	120
経常利益	1,756
税金等調整前当期純利益	1,756
法人税、住民税及び事業税	732
法人税等調整額	△15
少数株主利益	0
当期純利益	1,038

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

●連結株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計		
平成21年3月31日残高	810	111	12,577	△202	13,295	△8	77	69	0	13,365
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△209		△209					△209
当期純利益			1,038		1,038					1,038
自己株式の取得				△175	△175					△175
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						272	△101	171	0	171
連結会計年度中の変動額合計	-	-	829	△175	653	272	△101	171	0	824
平成22年3月31日残高	810	111	13,406	△378	13,949	264	△23	240	0	14,189

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

財務諸表

●損益計算書（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

（単位：百万円）

科目	金額
売上高	23,705
売上原価	18,594
売上総利益	5,111
販売費及び一般管理費	3,424
営業利益	1,686
営業外収益	170
受取利息	26
受取配当金	39
雑収入	104
営業外費用	120
支払利息	0
雑損失	119
経常利益	1,737
税引前当期純利益	1,737
法人税、住民税及び事業税	722
法人税等調整額	△16
当期純利益	1,031

（注）記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

●株主資本等変動計算書（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

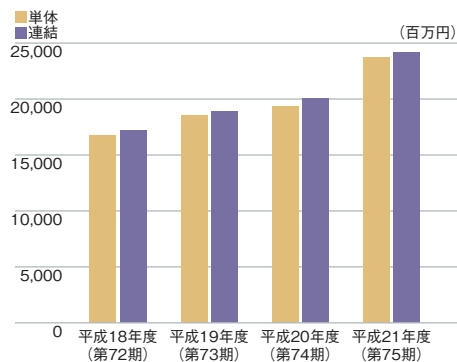
（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	其他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益		評価・換算差額等合計
		資本準備金	其他資本剰余金	利益準備金	其他利益剰余金						
平成21年3月31日残高	810	28	82	202	12,228	△202	13,149	△8	77	69	13,218
事業年度中の変動額											
剰余金の配当					△209		△209				△209
当期純利益					1,031		1,031				1,031
自己株式の取得						△175	△175				△175
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）								272	△101	171	171
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	822	△175	646	272	△101	171	817
平成22年3月31日残高	810	28	82	202	13,050	△378	13,795	264	△23	240	14,036

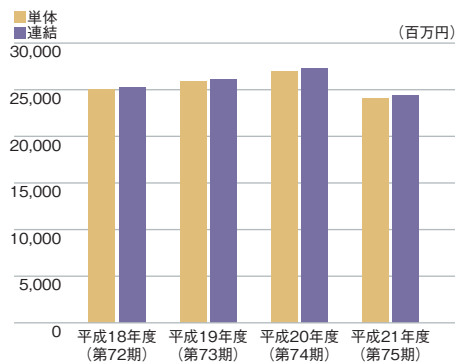
（注）記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

財務ハイライト

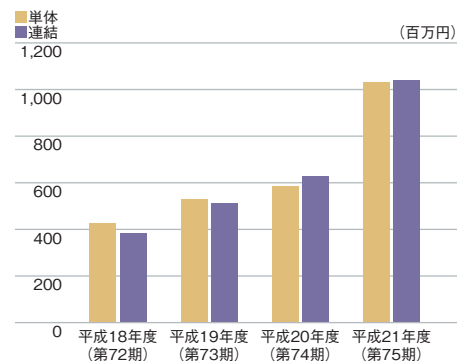
●売上高



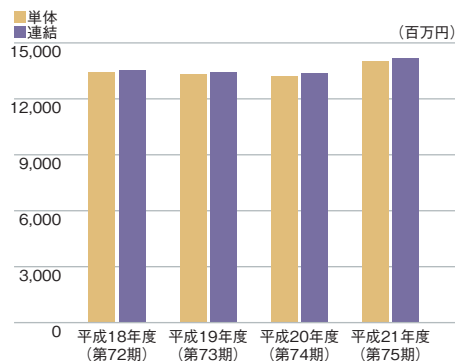
●総資産



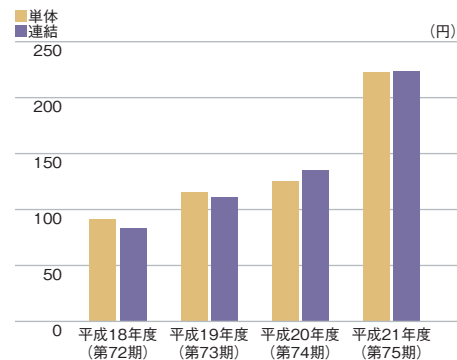
●当期純利益



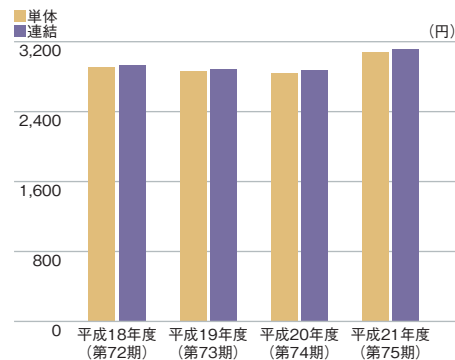
●純資産



●1株当たり純利益 (注)



●1株当たり純資産額 (注)



(注) 平成18年度 (第72期) 以前の1株当たり情報は、平成19年11月1日に行われた1:3の株式分割が反映され、調整されております。

株式の状況

(平成22年3月31日現在)

■発行可能株式総数	19,107,600株
■発行済株式の総数	4,776,900株
■株主数	2,581名

●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社GM INVESTMENTS	506	11.15
三井住友海上火災保険株式会社	202	4.45
明治安田生命保険相互会社	175	3.87
電業社取引先持株会	139	3.06
株式会社鶴見製作所	130	2.87
株式会社明電舎	127	2.80
財団法人生産技術研究奨励会	120	2.64
住友生命保険相互会社	117	2.58
日本生命保険相互会社	105	2.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	104	2.30

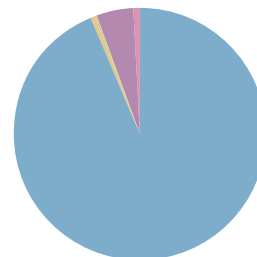
(注) 1. 当社は、自己株式(226千株)を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

●株主構成

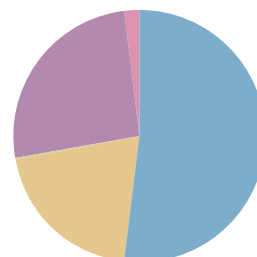
所有者別株主比率

■個人・その他	2,421名	93.80%
■金融機関	14名	0.54%
■証券会社	7名	0.27%
■その他の国内法人	123名	4.77%
■外国法人等	16名	0.62%



所有者別持株比率

■個人・その他	24,857百株	52.04%
■金融機関	9,638百株	20.18%
■証券会社	20百株	0.04%
■その他の国内法人	12,452百株	26.07%
■外国法人等	801百株	1.68%



会社の概況

(平成22年3月31日現在)

●会社の概要

- 商号 株式会社 電業社機械製作所
(DMW CORPORATION)
- 所在地 東京都大田区大森北一丁目5番1号
〒143-8558 TEL 03 (3298) 5115
- 資本金 810,000千円
- グループ従業員数 640名 (うち契約社員91名、パートタイマー35名)

●主な製品内容

機種	製品名
ポンプ	渦巻ポンプ、斜流ポンプ、軸流ポンプ、水中モータポンプ、その他各種ポンプ
送風機	ターボファン、翼形ファン、ラジアルファン、軸流ファン、ターボブロワ、その他各種送風機
バルブ	ロートバルブ、ハウエルバンガーバルブ、その他各種バルブ
その他	配電盤、電気計装制御装置、電気通信制御装置、曝気循環装置、除塵機、回転円板装置等

●取締役、執行役員及び監査役 (平成22年6月28日現在)

代表取締役会長	渡邊昌信
代表取締役社長 最高執行役員社長	柳瀬宜浩
取締役専務執行役員	土屋忠博
取締役上席常務執行役員	杉谷恒也
取締役常務執行役員	山本昇
上席執行役員	市川雅
執行役員	松本秀璽
執行役員	浅見幸男
執行役員	山本俊明
執行役員	戸泉勝喜
執行役員	杉山幸一
執行役員	鯉沼博行
常勤監査役	山崎和弘
常勤監査役	岡田洽史
監査役	北村康男
監査役	松村俊夫

株主メモ

- 事業年度 ■ 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 ■ 3月31日
中間配当金受領株主確定日 ■ 9月30日
定時株主総会 ■ 毎年6月
株主名簿管理人 ■ 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 ■ 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
- 上場証券取引所 ■ 東京証券取引所
公告の方法 ■ 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.dmw.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内



当社ホームページ ▶ <http://www.dmw.co.jp/>

 株式会社 **電業社機械製作所**

〒143-8558 東京都大田区大森北一丁目5番1号
TEL (03) 3298-5115 (代表)

